

# Chapter 6. 昇降機設備の入力

## 1. 輸送能力係数の算出方法

輸送能力係数  $M$  [-] は、次式により求まる。

$$M = \frac{C_{std}}{C_{design}} \quad (6.1.1)$$

ここで、

$C_{std}$  : 標準輸送能力

$C_{design}$  : 計画輸送能力

### 1) 標準輸送能力 $C_{std}$ の定め方

標準輸送能力  $C_{std}$  の定め方は次のとおりである。

- ・主たる建物用途が事務所等であり、一社占有の建物である場合は 0.25、一社占有の建物ではない場合は 0.20 とする。
- ・主たる建物用途がホテル等である場合は 0.15 とする。
- ・その他の建物用途については、当該建築物の用途及び実況に応じて適宜値を定めることとする。

### 2) 計画輸送能力 $C_{design}$ の定め方

計画輸送能力  $C_{design}$  は、次の式で求める。

$$C_{design} = \frac{H_{lift,5min}}{H_{total}} \quad (6.1.2)$$

$$H_{lift,5min} = \frac{300 * H_{in} * N}{RTT} \quad (6.1.3)$$

ここで、

$H_{lift,5min}$  : 5 分間エレベータ輸送人数 [人]

$H_{total}$  : エレベータ利用人数 [人]

$H_{in}$  : 乗客数 [人]

$N$  : エレベータの台数 [台]

$RTT$  : 一周時間 [秒]

### 3) 小規模事務所ビルを対象とした輸送能力係数 $M$ の簡易算出法

建物用途が事務所等であり、当該建築物の階数が 4 階以下または床面積の合計が 4000㎡以下の場合には、平均運転時間間隔  $\Delta T$  [秒] を 30 で除した値を輸送能力係数  $M$  とすることができる。ただし、平均運転時間間隔  $\Delta T$  が 30 秒以上の場合は、輸送能力係数  $M$  は 1 とする。

$$M = \frac{\Delta T}{30} \quad (6.1.4)$$

平均運転時間間隔  $\Delta T$  は次式で求める。

$$\Delta T = \frac{RTT}{N} \quad (6.1.5)$$

ここで、

RTT : 一周時間 [秒]

N : 台数 [台]